

NO SIDE

No. 1 H 2 9 . 7

編集 千歳市立
北陽小学校事務職員

教室・学校内の換気は十分ですか？

以前、新聞で化学物質過敏症の患者が増えているという記事を見ました。

「空気中に漂う化学物質に人体が反応し、頭痛や皮膚の湿疹などの症状が出る病気で、発症するとさまざまな化学物質に次々に反応するようになる。また、目に見えにくい微細な物質に反応しているため、本当の病気なのか、と誤解される人もいる。」専門家は「公共の場での喫煙はもちろん、揮発性の高い香水や強い香りの柔軟剤は避けてもらうなど周囲の配慮に頼るしかない。」というものでした。

この化学物質過敏症については、千歳市公立小中学校事務職員連携会議でも、取組の一つとして2004年度より市内・管内にこの化学物質過敏症対策の実態調査を開始し、対策内容や各校の取組を資料化し、各学校にお知らせしています。調査結果からは、多くの学校でワックスや石けん、マジックなどの教材関係、また、参観日等の保護者来校の際には、協力（香料のはいっていない化粧品、頭髪料など）を依頼する文書を出すなど対応している学校もあります。

しかしながら、家庭から持ってくる文房具類や衣類の柔軟剤等は、各家庭の問題なので、なかなか対応することが困難なことも事実です。

ですから、教室・学校内のこまめな換気により、空気の流れを作ることが大切になってきます。換気量を増やすことで、思考力・集中力の低下、インフルエンザなどの感染などの予防にもなります。

改めて、教室・学校内の換気について考えてみませんか？

子供の貧困と義務教育の完全無償化

「子どもの貧困」の定義

「日本の子どもの7人に1人が貧困状態にある」と言われて不思議に感じる方も多いと思います。「敗戦直後などは食べるるものも着るものもなく、多くの人が貧しかったのに対して、現在の社会で衣食住もままならない子どもがそれほど多いとは思えない」というような思いによるのではないでしょうか。「貧困」の基準を一定水準の衣食住に置くと確かにその通りなのですが、「子どもの貧困」という時の「貧困」の基準は、相対的貧困によるものです。O E C Dなどの国際的な定義によれば「人として社会に認められる最低限の生活水準は、その社会における通常からそれほど離れていないことが必要であり、それ以下の生活を貧困とする」となります。つまり、生きていくために必要な最低限の衣食住は確保したとしても、交際費、通信費、交通費、教育費等々社会の一員としての関わりを保てなければ、貧困と定義されることになります。

相対的貧困の基準の算出は「世帯の可処分所得を世帯人数で調整し、全世帯の所得を低い順に並べた時、その中央値(平均値ではない)の50%のライン以下」というO E C Dの方法が一般的に用いられているようです。因みに、この算出によれば、日本は敗戦直後よりも今の方が貧困率は高くなります。

「子どもの貧困」の連鎖を絶つ

では、「子どもの貧困」を解消するためにはどうしたら良いのか？今年の1月7日の道新の社説から捉えてみます。『「子どもの貧困」連鎖を絶とう』という標題の社説では「世帯収入が低いと十分な教育を受けられず、学歴の差を生み就業状況にも非正規雇用や低就業率という形で影響を及ぼす、結果として収入の差へつながり、新たな貧困を生み出す」とし、貧困の連鎖を説明します。この連鎖を絶ち切るために教育格差を解消していく方策として、給付型奨学金などの経済的支援、義務教育の完全無償化、無料の学習支援事業、学校の少人数学級や教員の増員によるきめ細かい指導などの有効性をあげ、さらに新たな施策として地域の取り組みにも着目し、千歳市の「ちとせ学習チャレンジ塾」を先進的な事例として紹介しています。

義務教育の完全無償化

ここで、私たち学校に勤める者として、とりわけ注目したいのは「義務教育の完全無償化」です。「義務教育の無償化」に「完全」を付けた言い方を最近の新聞各紙で目にします。授業料、教科書に加えて、給食費、教材費、修学旅行費、卒業アルバム制作費などなど義務教育でかかる費用を公費で賄うという事を意味しています。生活の苦しい家庭だけではなく、義務教育就学の子を持つ家庭にとっては、学校の徴収金が大きな負担となっているという実態を踏まえ、解消していく必要性を指摘しています。「少しでも家庭からの徴収金を減らしていく」という姿勢が、自治体そして学校に求められています。



北栄小学校は1953年に千歳小学校より分離し児童数474名9学級で開校となりました。R36線に面するも学校林と「元気の森」が校地内にあり、緑に囲まれ野鳥はもちろん、早朝エゾリスや鹿を見ることも・・・。現在は13学級249名で昭和55年から続くスクールバンドの音色に耳を澄ませば爽やかな気分で一日が始まります。2階ホールには知育玩具（マグフォーマー、ボールトンネルなど）を用意し、自由に使える「クリエイティブスペース」を設け、そこでは高学年が低学年の面倒をみたり、声をかけている微笑ましい姿がみられます。そうした日常の中での気づきや学びの機会を得られるよう、事務職員として生活の場としての環境づくりを進めていけたらと思っています。

北栄小 Y

「古きを温ねて新しきを知る」～強いぞS P盤（蓄音器用レコード）～

I市立A小学校 A. T.

S P盤はStandard Playingの音盤をいい、私は新しい・古いにかかわらず、色々聴いています。2016年に出たレコードでは新譜はBOB DYLAN、IGGY POP、ザ・クロマニヨンズ、久方ぶりにTHE ROLLING STONESの新譜も出ました。映像ではありますが映画THE BEATLES「EIGHT DAYS A WEEK」も感動モノでした。昔のものでは先日S P盤を購入したところ、1枚が割れていきました。MEMPHIS SLIMというブルース歌手・ピアニストが1946年に出した「HARLEM BOUND/LIFE IS LIKE THAT」のカップリング。「HARLEM BOUND」は後にシカゴブルースのギタリスト・歌手のJIMMY ROGERSが「CHICAGO BOUND」として録音する原曲。JIMMYはやはりシカゴブルースの大物 MUDDY WATERSのバンドのギタリスト。ちなみにMUDDYは「ROLLIN' STONE」という曲を録音しています。

S P盤はふちが割れ、中ほどまでうっすらとヒビが入っている状態。購入店に連絡すると、割れた代金は返金して貰えるようになりました。更に、ふちを瞬間接着剤で固定すると再生できるかも知れないと、アドバイスを頂きました。乾燥後蓄音器にS P盤を乗せ、恐る恐る太い針を置きました。何と問題なく聴けました！これは7inchやLPなどの塩化ビニール製のレコード+通常の針圧が軽い針では不可能だったでしょう。蓄音器の針圧が途轍もなく重く、そしてS P盤がそれに耐えうる力を持っているためで、また1分間の回転数も45回転や33 1/3回転でなく、78回転だからヒビの雑音が目立たなかつたのでしょう。肝心の音ですが小編成バンドの途方もないエネルギーが伝わってきて感動！威勢のいい唄いっぷり、アタックの強いピアノ、ダイナミックな管楽器、躍动感溢れるベース。「LIFE IS LIKE THAT」もスロー古典曲、表現力豊かな唄を中心に堪能。蓄音器+S P盤の組み合わせは最強。

これらが実はそこに演奏者がいるような、豊かな再生音で、これこそが「古きを温ねる」べきと。。さまざまなことがらもこうしたところがあり、大事ではないかと私は常々思うのです。



No.2 H29.11

地区連携
グループ

編集

千歳市立北陽小学校事務職員

寒冷地手当特集

All men are
created
equal.

11月から3月までの給料日に寒冷地手当が支給されます

北海道に在勤し、常時勤務に服する学校職員に対して、11月～3月までの期間（5ヶ月間）に限り支給される手当です。

次の方は、手続きが必要となります。

① 新採用等で「世帯区分状況報告書」が未提出により世帯区分が決定されていない職員。

② 世帯区分が変更になる職員。

（自分のあるいは扶養親族の居住状況等々により変わる場合もあります。）

（例） 結婚した時

配偶者が被扶養者でなく、第1子が生まれた時

配偶者が就職、退職した時

所得超過により扶養親族でなくなる時

新たに父母等を扶養した時

離婚した時

扶養親族（父母等）が死亡した時

子が22歳に達した年度の3月31日を経過した時

人事異動により住居を移転し、単身赴任となった時

③ 異動等により北海道内に在勤することとなった職員。

※ 提出された報告書に基づき、寒冷地手当の額が決定されます。

現在の世帯区分については、給料等支給明細書の氏名欄の右側にX・Y・Zのいずれかのアルファベットが印字されていますので、誤りがないか、ご確認ください。
(印字の無い方は、報告書の提出などの手続きが必要となります。)

地域の区分	世帯等の区分		
	世帯主である職員	その他の世帯主である職員 Y	その他の職員 Z
石狩管内は2級地です	扶養親族のある職員 X		
1級地	26,060円	14,400円	10,220円
2級地	23,080円	12,900円	8,700円
3級地	22,260円	12,700円	8,500円

食事と交流機会 子どもに提供

こども食堂【十彩】

千歳市大和1のこども食堂「十彩（といろ）」は、3月1日のオープンから8ヶ月を迎えた。

毎週土曜日の夕方、市内外から集まる子供たちがにぎやかに食卓を囲み、食後の団らんの時間を過ごしています。最近各地で取り組みが進む地域が見守る子供の居場所づくり一。

営業は毎週土曜日の午後5時から同7時。小学生から高校生まで、さまざまな地域から集まつた利用者が1回100円の利用料金で一緒に食卓を囲み、ビュッフェスタイルの食事を楽しめます。大人だけで利用はできませんが、子供の同伴者ならば200円で一緒に食事ができ、保護者の交流の場にもなっています。

十彩は「子供たちが誰でも気軽に利用できる地域の居場所づくり」を目指し、趣旨に賛同するボランティアスタッフが運営しており、運営資金の大部分は寄付で賄われています。

千歳市事務職員連携会議では、12月8日（金）15：00から十彩の責任者である尾崎智恵子さんをお招きして、講演会を開催することとなりました。

講演に関しての質問等があれば、事務職員にお問い合わせください。



信号機設置セレモニー「渡り初め」

2010年から要請

みどり台北に信号と横断歩道新設



10月27日（金）に、みどり台地区に信号機及び横断歩道が設置されました。地元町内会や北陽小学校PTAなどは2010年から設置を市に求めていました。

同地区と国道36号や中心部方面を結ぶため、大型車をはじめ絶えず車が行き交い、過去5年間に人身事故だけでも5件発生し、急激な宅地拡大と交通量の増加から道警が選定したといいます。

信号機が稼動したのは市道南28号通りと同東4線の交差点。

その記念行事「渡り初め」に北陽小学校の1～3年生50名ほどが参加しました。式の中では、北陽小学校長からのお話や千歳警察署の飲酒運転根絶戦隊「飲んだら乗れんジャー」による交通安全教室が行われました。その後、点灯式を行い、みんなで横断歩道を渡りました。

非常に交通量が多く、危険な場所でしたので、設置されたことは本当によかったです。